

環境パフォーマンスデータ
第三者検証報告



株式会社フジクラ 御中

2016年6月30日



ビューローベリタスジャパン株式会社
システム認証事業本部

ビューローベリタスジャパン株式会社(以下、ビューローベリタス)は、株式会社フジクラ(以下、フジクラ)の責任において報告される環境関連データのうち、フジクラから要請のあったものに対して第三者検証を実施した。検証の目的は、環境関連データの信頼性及び正確性を確認し、客観的証拠に基づき検証意見を表明することである。

1. 検証概要

ビューローベリタスは、フジクラとの合意に基づき、以下の検証を実施した。

2015年度(2015年4月1日から2016年3月31日)の事業活動に伴う環境負荷データ

検証対象	訪問サイト	検証手続き
フジクラ佐倉事業所の事業活動に伴うエネルギー起源 CO ₂ 排出量及び水使用量	フジクラ 佐倉事業所	・フジクラ本社及び佐倉事業所によって策定された文書類の確認 ・責任者・担当者へのインタビュー ・データの計測方法に関する現場査察 ・収集・報告されたデータと根拠資料との突合
スコープ3 カテゴリー3 温室効果ガス排出量 (GHG Protocol Corporate Value Chain (Scope 3) Accounting and Reporting Standard に基づく) 但し、フジクラ佐倉事業所が購入した燃料及び電力の上流での排出に限る。		

この検証は、現時点での最良の事例に基づき、ビューローベリタスが定める非財務情報報告に対する第三者検証の手順とガイドラインを使用して実施された。ビューローベリタスは、本報告書に示された範囲に対して限定的保証を行うにあたり、国際保証業務基準 (ISAE) 3000 を参考にした。

2. 検証結果

上述した検証の方法及び活動によれば、

- ・検証において確認した情報が正確でない、及び対象期間における実績を適切に反映していないことを示す事項は発見されなかった。
- ・フジクラは、検証対象範囲の定量的なデータについて、収集・集計・分析のための適切な仕組みを構築していると考えられる。

ビューローベリタスは、全社員の日常業務活動において高い水準が保たれることを目指すためのビジネス全般にわたる倫理規定を定め、特に利害の対立を避けることに配慮しています。フジクラに対するビューローベリタスの活動は、サステナビリティ報告に対するものだけであり、我々の検証業務がなんら利害の対立を引き起こすことはないと考えます。